

姫路医療センターさくらんぼクラブ通信

さくらんぼクラブは、がん患者さんとご家族のための会です

2009年11月 第2号



さくらんぼクラブでは…

「話したいこと」「聞きたいこと」のある人がその日の主役です。特に、病名を告げられて間もない方は、どんどん決められていく治療スケジュールに自分の気持ちが追いつかないことも多いでしょう。

さくらんぼクラブで、ゆっくりお話しませんか？

★最近のさくらんぼクラブの話題より★

がんと診断された父親が、気力を失い、食欲もありません。このままでは予定していた治療もうけられないほど。どうしたらよいでしょうか？

主治医とのコミュニケーションに悩んでいます。気になる事があって質問したのに「大丈夫」といわれるだけ。それだけでは不安が拭えないのです。

診察してくれた医師から「なんでもっと早く来なかったのか？」と言われました。気付いてすぐに受診したつもりだったのに…。

周囲の人に病名を伝えるべきか迷います。「今は簡単に治るでしょ？」「かわいそうやね。」などと言われ、もどかしい思いをしています。

がんになったら気になりはじめた健康食品やサプリメント、どう考えますか？不安をあおられたり、食べ物にされるような気がします。だまされないようにしないといけないとは思いますが…。医療者の方に聞いてもあまり答えてくれないこともあります。

その他にもいろんな話題があります。

上記のような難しい問題ばかりではなく、趣味の話や旅行に行ったことのような楽しい話題まで、がん相談支援室のスタッフが加わったりしながら、様々なことをみんなで話しています。

今後のさくらんぼクラブの予定

2009年11月27日(金)

2009年12月25日(金)

2010年1月22日(金) → 第3会議室

2010年2月26日(金)

2010年3月26日(金)

いずれも 10:00～12:00 ごろまで。

姫路医療センター2階の第2会議室でお待ちしています。

9月 さくらんぼクラブ俳句集

彼岸花
今年最後の
まがりかど



秋の朝
口笛吹けば
鳥が舞う



ふえすぎて
少し邪魔かな
秋海棠
(しゅうかいどう)



夕焼けの
命の限り
告げられし



さくらんぼクラブ通信は、さくらんぼクラブ会員である患者さんやそのご家族の体験・言葉で構成され、姫路医療センターがん相談支援室が発行しています。

お医者さんの一言で...

Hさんの体験

N先生の一言で救われる思いでした！
「Hさんが風邪をこじらせたのがきっかけで見つかったのだから、これは神さま仏さまのお導きがあったんやな。」(肺炎からがん発見に至った時のこと)

Aさんの体験

X先生のある一言で、
「この状態になったのは自分のせい？」と思わされて、
つらい日々を送りました。こんな思いはイヤです。

★がん相談支援室のご案内★

がんに関するいろんなことを相談することができます。資料やパンフレットを探することができます。

相談は専門の看護師がプライバシーの保たれた場所で行われます。相談に対応した者は守秘義務を厳守し、お話しになった内容が外に漏れてしまう事はありませんので、安心してご利用ください。どなたでも利用することができます。

いつでも、お気軽にご相談下さい。
あなたの抱えている悩みが少しでも軽くなるようにお手伝いいたします。
ご利用お待ちしております。

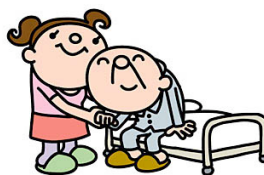
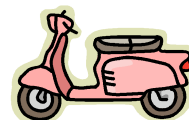


がん相談支援室は
姫路医療センター1階の外来受付を左に曲がってすぐです。
相談のご予約は
079-225-3211(病院代表)まで

Nさんのこと

さくらんぼクラブがはじまった時から参加されていたNさんが、2009年9月に転院先のホスピスで、ご家族に見守られながらお亡くなりになりました。

当初から末期の肺がんを患っていたNさんでしたが、都合のつく限り、さくらんぼクラブに出席していました。食べることの大切さや、そのための畑仕事について、さくらんぼメンバーに色々な事を教えてくれました。ご自身の手を使って物を作り出すこともお得意でした。お孫さんもいらっしゃる年齢ですが、まるで子供のようなところのある、魅力的な女性でした。



さくらんぼクラブ一同、
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

